

令和 7 年度 第 7 回 筑後川水系渇水調整連絡会 幹事会

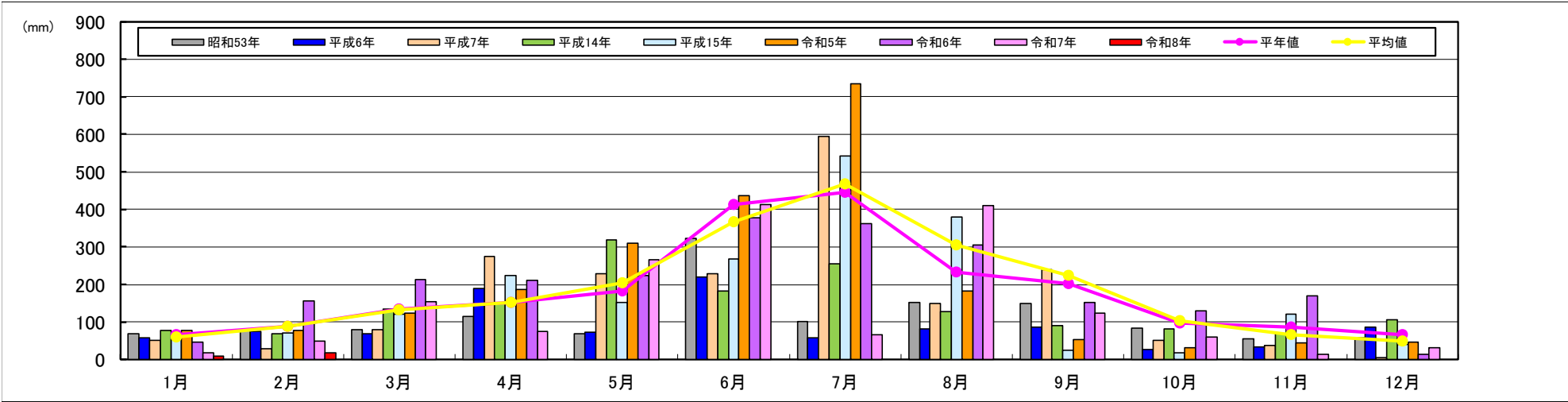
筑後川の水状況について

令和 8 年 2 月 1 3 日

筑後川水系渇水調整連絡会
事務局

筑後川(瀬ノ下上流域)平均月別雨量図

○ 筑後川の流域では例年になく少雨傾向にあり、特に、令和7年10月から令和8年1月までの合計雨量は113.8mm（平年比36%）と、江川ダムが管理開始された昭和50年以降で同時期の合計雨量は過去最少となっている。



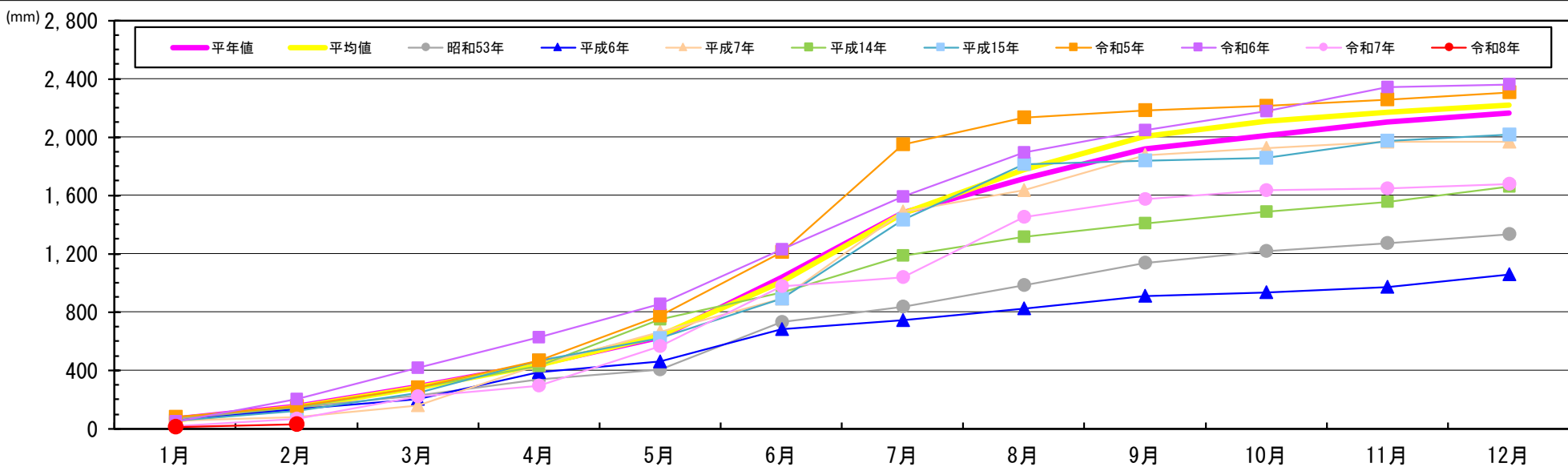
単位:ミリ												
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平年値	66.2	87.9	134.7	152.9	181.5	412.5	445.1	232.6	201.3	98.0	86.6	65.4
平均値	60.6	88.5	131.4	152.6	205.1	367.4	468.1	305.0	223.1	103.7	65.5	49.8
昭和53年	68.0	76.9	78.9	115.1	68.2	323.2	102.0	152.3	150.1	84.0	55.6	57.4
(平年比)	102.8%	87.5%	58.6%	75.3%	37.6%	78.4%	22.9%	65.5%	74.6%	85.7%	64.2%	87.7%
平成6年	56.6	75.4	68.5	188.7	72.8	220.3	58.3	82.1	86.2	26.3	34.3	85.5
(平年比)	85.6%	85.8%	50.8%	123.4%	40.1%	53.4%	13.1%	35.3%	42.8%	26.8%	39.6%	130.6%
平成7年	51.5	28.7	79.3	273.9	228.6	227.4	594.8	150.5	238.9	52.1	38.3	5.7
(平年比)	77.9%	32.6%	58.9%	179.2%	126.0%	55.1%	133.6%	64.7%	118.7%	53.1%	44.2%	8.7%
平成14年	77.6	68.7	133.6	150.7	319.0	182.8	254.4	128.0	89.6	81.9	69.5	104.8
(平年比)	117.3%	78.1%	99.2%	98.6%	175.8%	44.3%	57.2%	55.0%	44.5%	83.5%	80.2%	160.1%
平成15年	52.4	70.0	121.0	225.0	152.0	269.0	541.0	380.0	25.0	18.0	122.0	40.0
(平年比)	79.2%	79.6%	89.8%	147.2%	83.8%	65.2%	121.5%	163.4%	12.4%	18.4%	140.8%	61.1%
令和5年	78.4	77.0	123.7	187.1	310.3	436.4	735.3	182.3	53.3	30.6	43.8	46.3
(平年比)	118.5%	87.6%	91.8%	122.4%	171.0%	105.8%	165.2%	78.4%	26.5%	31.2%	50.6%	70.7%
令和6年	46.1	156.6	213.4	212.0	223.2	376.7	362.3	304.5	151.6	129.2	168.4	14.6
(平年比)	69.7%	178.1%	158.4%	138.7%	123.0%	91.3%	81.4%	130.9%	75.3%	131.8%	194.4%	22.3%
令和7年	18.1	48.6	154.0	75.2	266.6	412.0	66.7	409.6	123.5	59.3	14.5	31.3
(平年比)	27.4%	55.3%	114.3%	49.2%	146.9%	99.9%	15.0%	176.1%	61.3%	60.5%	16.7%	47.8%
令和8年	8.7	18.0										
(平年比)	13.2%	20.5%										
合計												2,164.8
平均値												2,220.7

※平年値は、1991～2020年(30年間)の平均値

平均値は2016～2025（直近10年）の平均値

※九州地方整備局調べ

筑後川(瀬ノ下上流域)平均累加雨量図



単位:ミリ

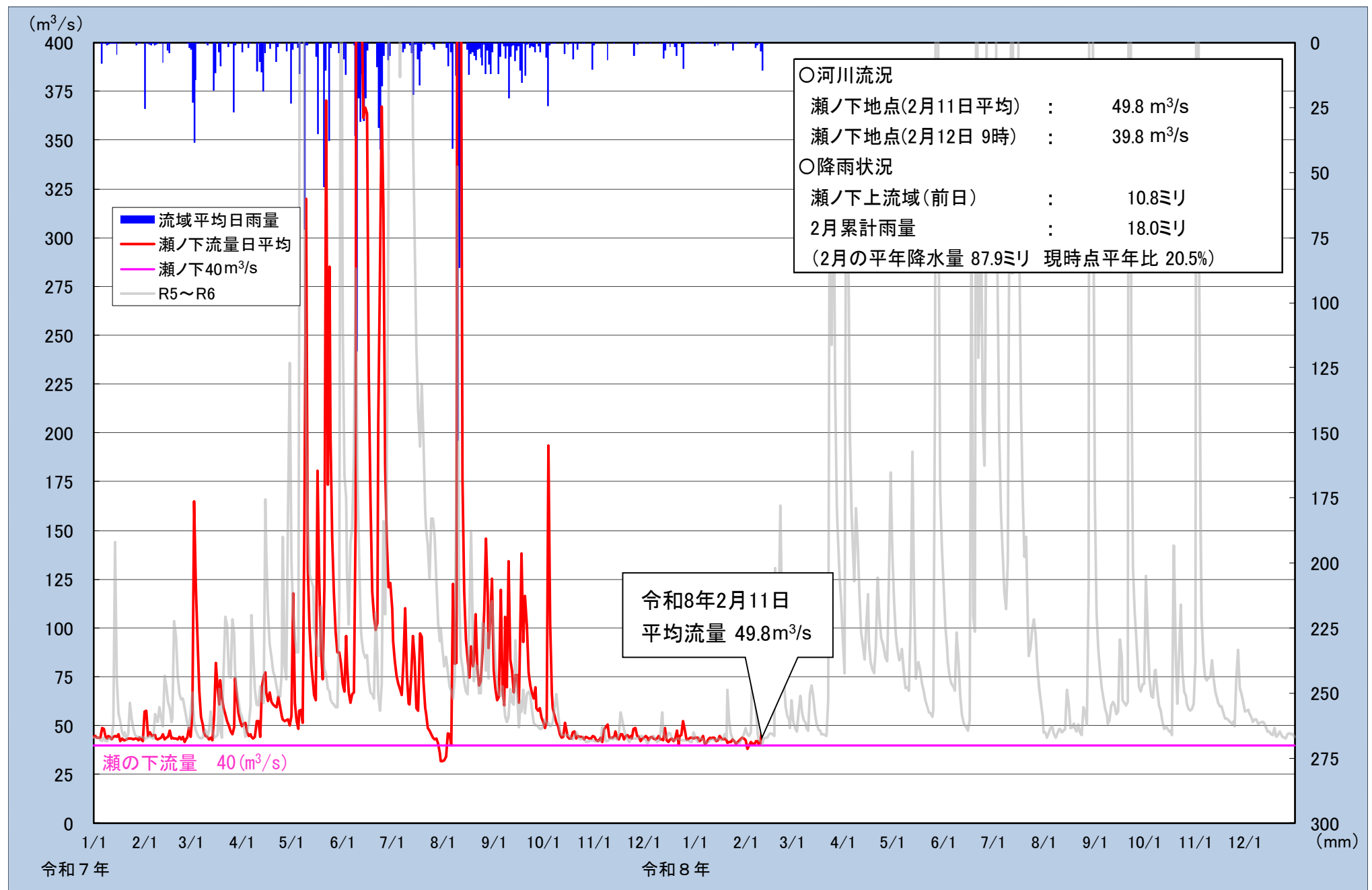
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平年値	66.2	154.1	288.8	441.7	623.1	1,035.6	1,480.7	1,713.3	1,914.7	2,012.7	2,099.3	2,164.8	2,164.8
平均値	60.6	149.1	280.5	433.1	638.1	1,005.5	1,473.6	1,778.6	2,001.7	2,105.4	2,170.9	2,220.7	2,220.7
昭和53年	68.0	144.9	223.8	338.9	407.1	730.3	832.3	984.6	1,134.7	1,218.7	1,274.3	1,331.7	1,331.7
(平年比)	102.8%	94.1%	77.5%	76.7%	65.3%	70.5%	56.2%	57.5%	59.3%	60.6%	60.7%	61.5%	61.5%
平成6年	56.6	132.0	200.5	389.2	462.0	682.3	740.6	822.7	908.9	935.2	969.5	1,055.0	1,055.0
(平年比)	85.6%	85.7%	69.4%	88.1%	74.1%	65.9%	50.0%	48.0%	47.5%	46.5%	46.2%	48.7%	48.7%
平成7年	51.5	80.2	159.5	433.4	662.0	889.4	1,484.2	1,634.7	1,873.6	1,925.7	1,964.0	1,969.7	1,969.7
(平年比)	77.9%	52.1%	55.2%	98.1%	106.2%	85.9%	100.2%	95.4%	97.9%	95.7%	93.6%	91.0%	91.0%
平成14年	77.6	146.3	279.9	430.6	749.6	932.4	1,186.8	1,314.8	1,404.4	1,486.3	1,555.8	1,660.6	1,660.6
(平年比)	117.3%	95.0%	96.9%	97.5%	120.3%	90.0%	80.1%	76.7%	73.3%	73.8%	74.1%	76.7%	76.7%
平成15年	52.4	122.4	243.4	468.4	620.4	889.4	1,430.4	1,810.4	1,835.4	1,853.4	1,975.4	2,015.4	2,015.4
(平年比)	79.2%	79.4%	84.3%	106.1%	99.6%	85.9%	96.6%	105.7%	95.9%	92.1%	94.1%	93.1%	93.1%
令和5年	78.4	155.4	279.1	466.2	776.5	1,212.9	1,948.2	2,130.5	2,183.8	2,214.4	2,258.2	2,304.5	2,304.5
(平年比)	118.5%	100.9%	96.6%	105.6%	124.6%	117.1%	131.6%	124.3%	114.1%	110.0%	107.6%	106.5%	106.5%
令和6年	46.1	202.7	416.1	628.1	851.3	1,228.0	1,590.3	1,894.8	2,046.4	2,175.6	2,344.0	2,358.6	2,358.6
(平年比)	69.7%	131.6%	144.1%	142.2%	136.6%	118.6%	107.4%	110.6%	106.9%	108.1%	111.7%	109.0%	109.0%
令和7年	18.1	66.7	220.7	295.9	562.5	974.5	1,041.2	1,450.8	1,574.3	1,633.6	1,648.1	1,679.4	1,679.4
(平年比)	27.4%	43.3%	76.4%	67.0%	90.3%	94.1%	70.3%	84.7%	82.2%	81.2%	78.5%	77.6%	77.6%
令和8年	8.7	26.7											26.7
(平年比)	13.2%	17.3%											1.2%

※平年値は、1991～2020年(30年間)の平均値

平均値は2016～2025(直近10年)の平均値

※九州地方整備局調べ

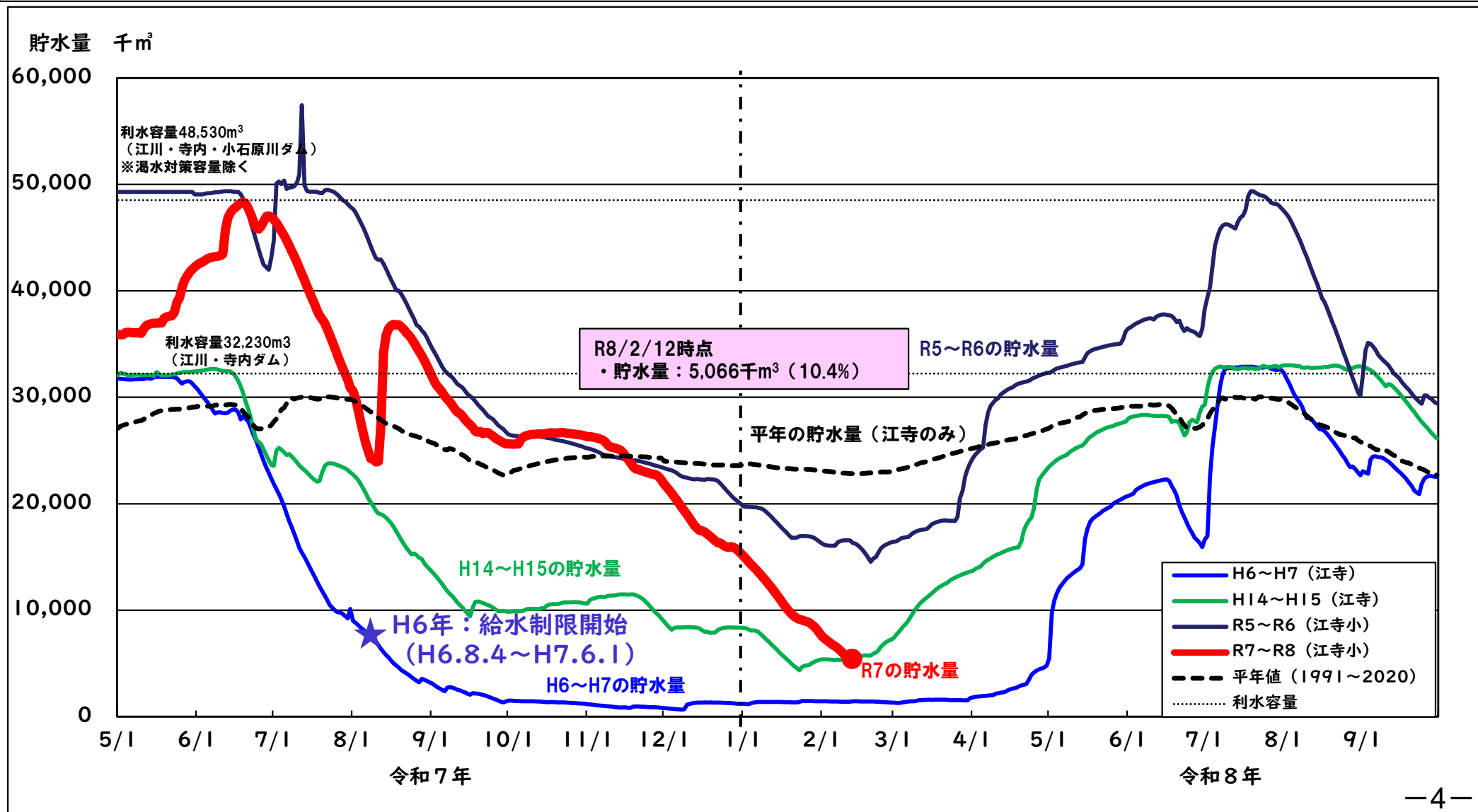
瀬ノ下日平均流量・瀬ノ下上流域平均雨量（速報値）



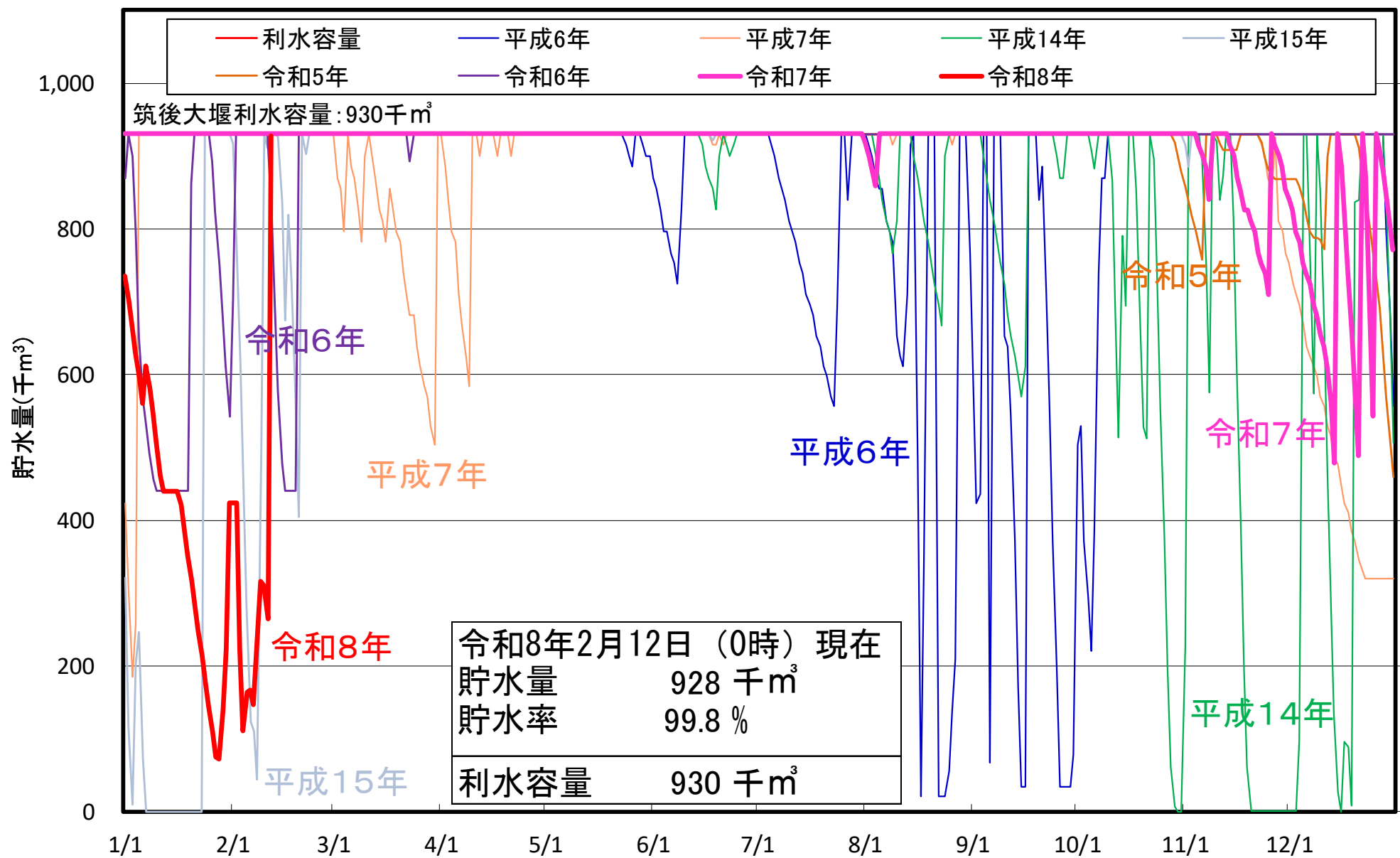
※筑後大堰直下で40m³/sを確保するよう運用中

筑後川の水源地の状況①

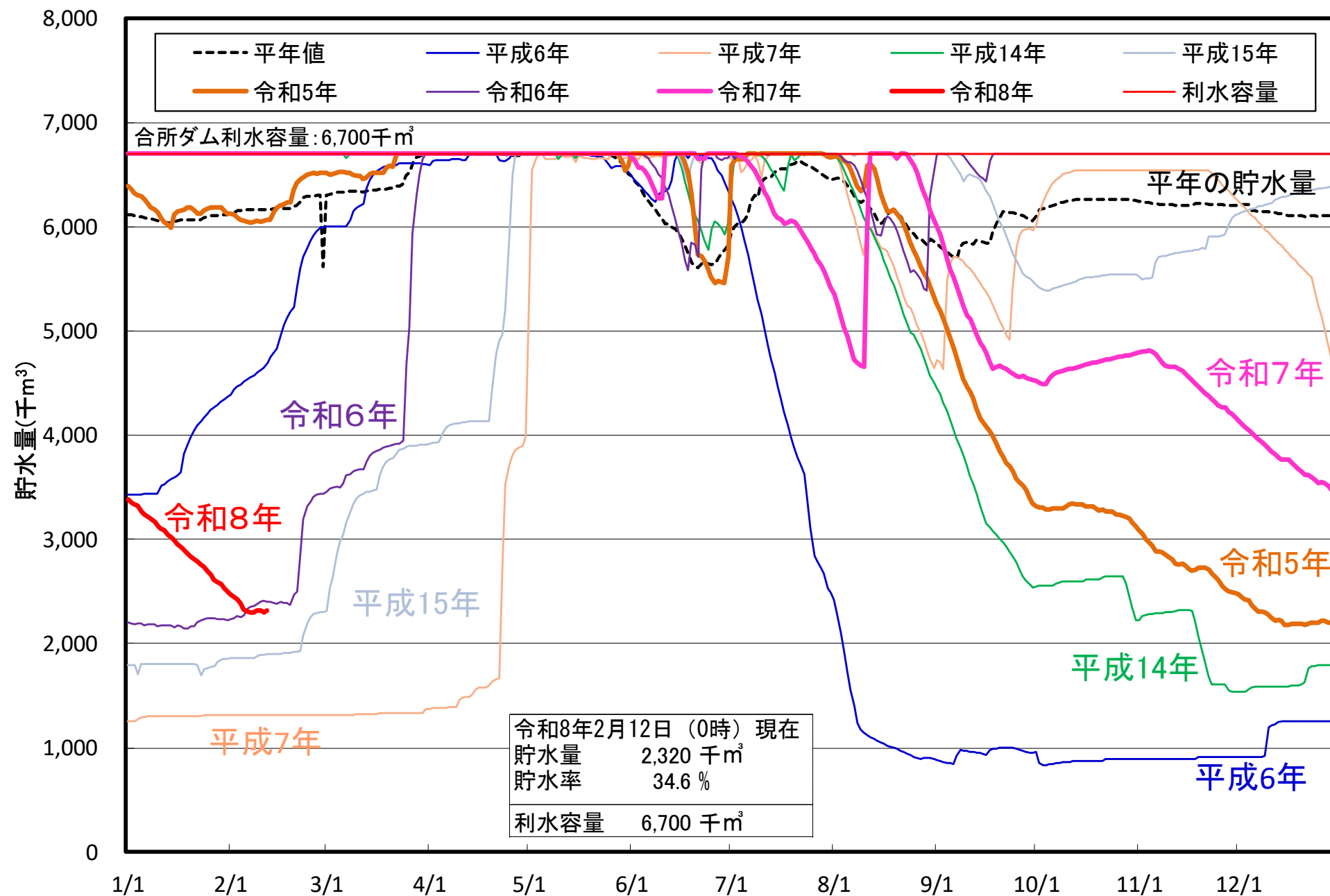
- 筑後川の流況は減少傾向。都市用水等の利用のため、ダムから断続的に補給。
- 同時期の朝倉3ダムの貯水率は、過去最低。（小石原川ダム運用開始後）
- 朝倉3ダムをはじめ、筑後川水系6施設は今後まとまった降雨がなければ貯水量がさらに減少することを想定。



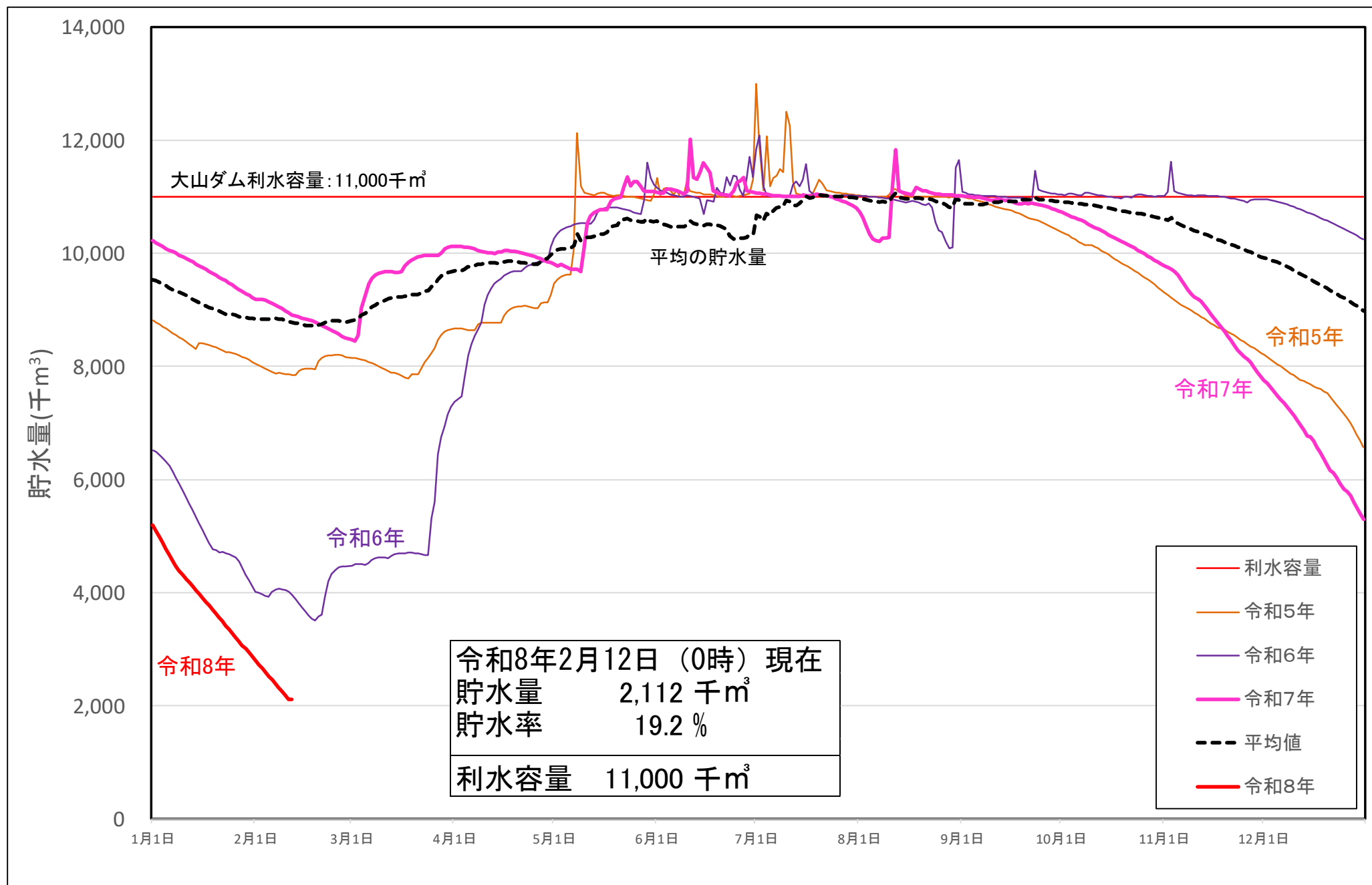
筑後大堰貯水量



合所ダム貯水量

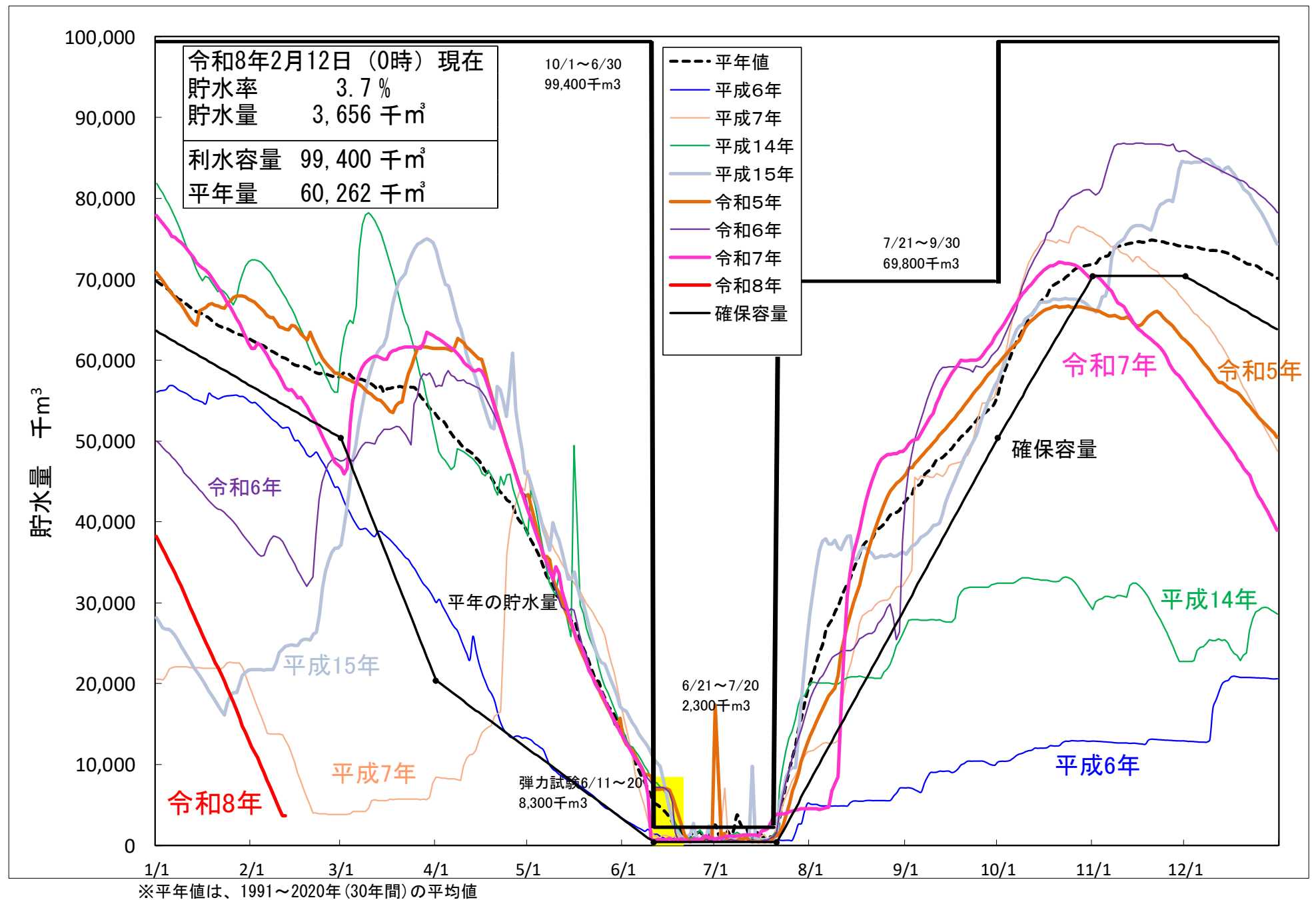


大山ダム貯水量



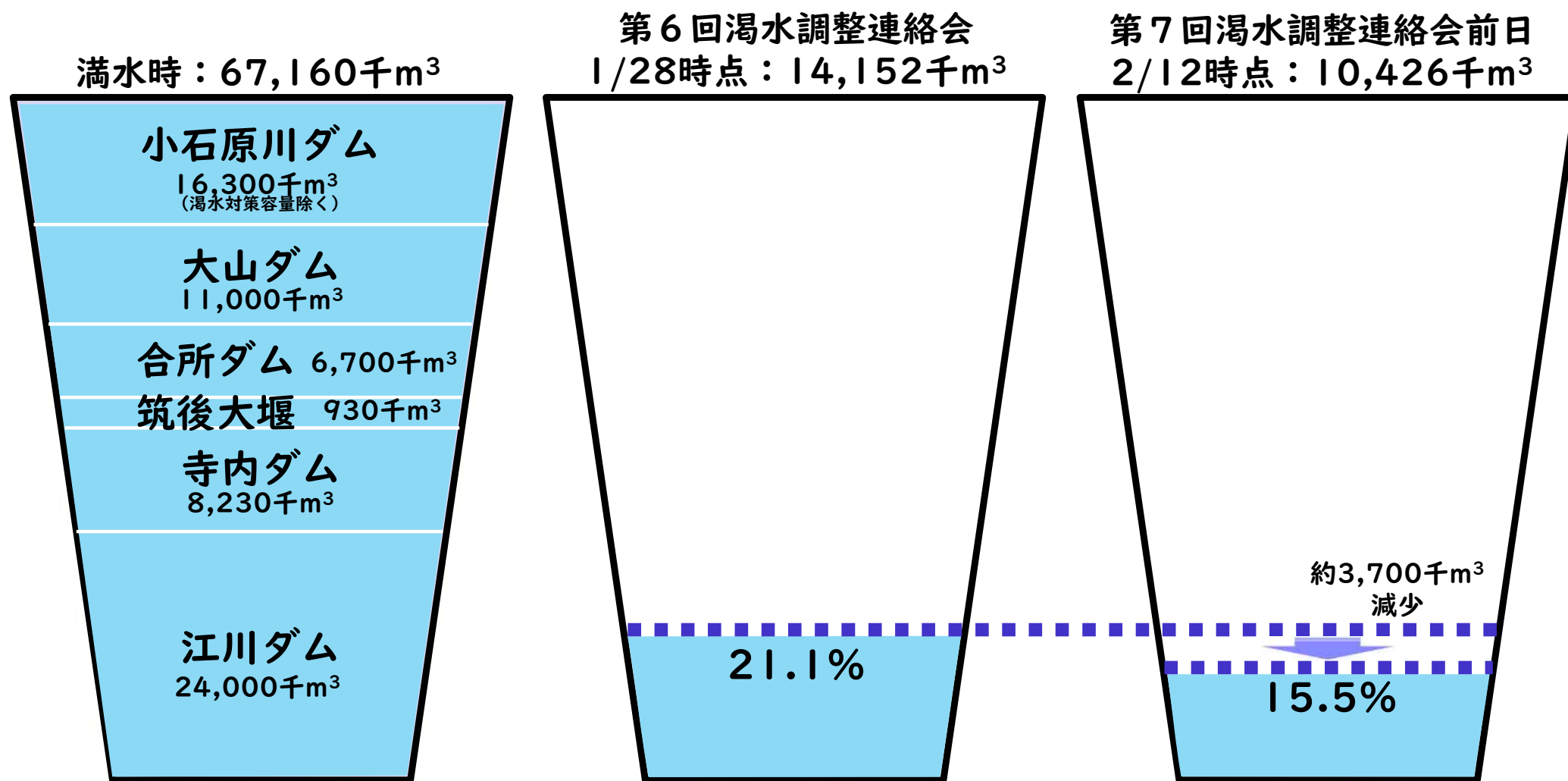
※平均の貯水量は、10か年（H27～R6）の平均の値

松原・下笠ダム貯水量経年変化図



筑後川の水源の状況②

- ダムの完成や渇水調整などにより、平成6年渇水以降は断水など市民生活・社会経済活動への影響は回避。（直近の冬季渇水は令和5年度）
- 現在の筑後川主要6ダム合計貯水量は、直近4ヶ月の少雨により満水時に対し20%を下回り、その水量は江川ダムの貯留可能量の半分以下まで減少。
- 後述する今後の天候や流域の水源状況からも、更なる渇水調整が必要な状況である。



今後の天候の見通し（1か月・3か月予報福岡管区気象台予報より）

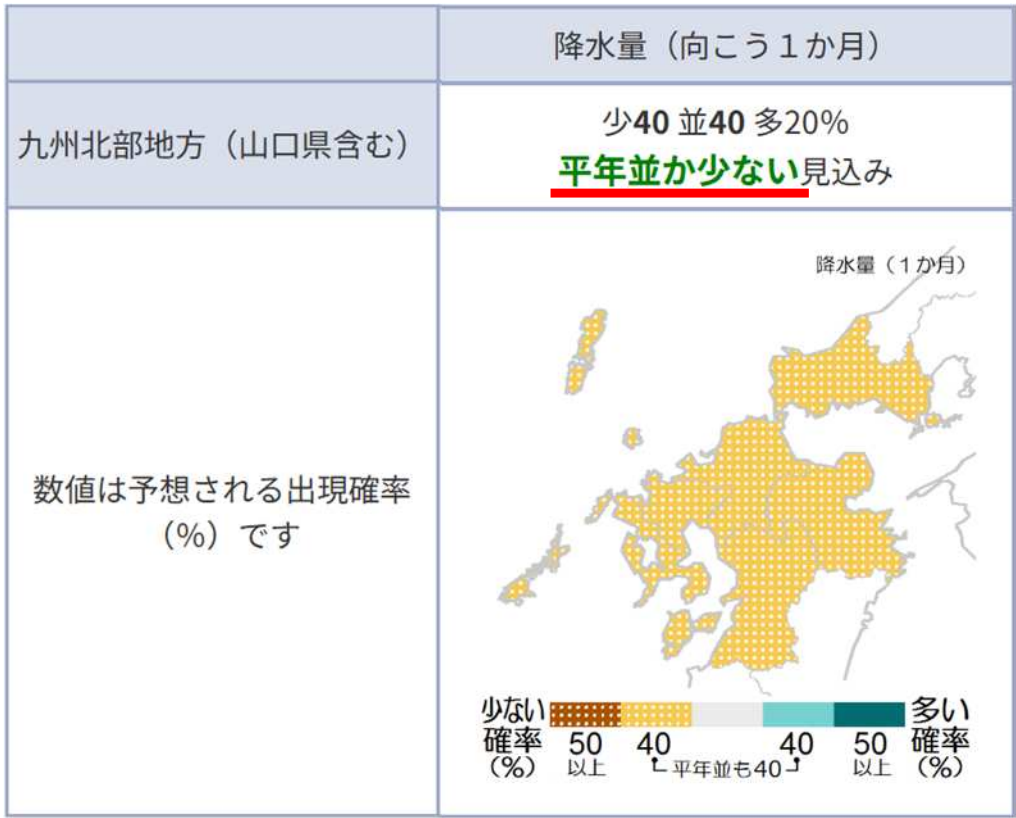
■向こう1か月の天候の見通し 九州北部地方（山口県含む）（2/14～3/13）

予報のポイント

- 昨年10月中旬以降、低気圧の影響を受けにくく、降水量の少ない状態が続いています。向こう1か月の降水量も、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年並か少ないでしょう。また、向こう1か月の日照時間は平年並が多いでしょう。
- 寒気の影響を受けにくいため、向こう1か月の気温は平年並が高いでしょう。

向こう1か月の天候

- 天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。



■向こう3か月の天候の見通し 九州北部地方（山口県含む）（2月～4月）

